



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：鈴木 浩司 幹事：海和 浩運

地区目標 元気なクラブづくりのために「ロータリーの木」の苗木を植え
ましょう、クラブに、地域社会に、世界に、次世代のために

クラブテーマ 「ロータリーを発信しよう」一人ひとりの感性で

◆点鐘：鈴木 浩司 会長 ◆ロータリーソング：奉仕の理想
◆司会：戸田 佳瑞 副 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2864回例会

令和元年11月25日(月)

会長挨拶

鈴木 浩司 会長



11月は2回だけの例会でしたが、その代わり12月はフルに4回ございますので、ぜひ皆さまご出席よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

先週の23日、天皇皇后両陛下が伊勢神宮に、いわゆる継承のご報告をしたことをもって、一連の皇室の行事がおおまかには終わったということでございます。5月1日に令和という元号が変わったわけですが、その後のいろいろな一連の行事を通じて、我々、30年ぶりに皇室の行事に接する機会が多かったことです。なかなか普段日常は意識しないわけですが、あの行事が、脈々と千年以上も続いて、天皇の役割というのはその時代と共に変化はしてきてるわけです。我々国民みんなが、いろいろな気持ちを、それぞれの立場もありながらも、ここまで継承をさせてきたってというのは、我々日本国民はまあすごい人種なんだなと。他の国は、王朝が潰ればできるだけその子孫も含めて、根絶やしにするようなことも行われてきたと聞いておりますので、我が日本国民の本当に、寛容性というか、柔軟にいろいろなことに対応して自分たちの象徴としての天皇をこう継承させてきた力っていうのは本当に、日本人に生まれて良かったなと、改めて感じた次第であります。

一方、先週からじくカトリックの、教皇様が日本を訪れると。世界中にはいろいろな宗教があるわけで、本来宗教というのは人間の救いになるためのものだと思いますけども、それが元で戦争がおこったり、いろいろな民族間の対立があったりする。それに引き替え我が日本は、家には仏壇があり、神社にはお参りし、それから山々、自然の中に神を見出してですね、八百万の神ということではいろいろなことに感謝をしながら、寛容性を持っていろいろな違い受け入れてる。これもまた日本民族の素晴らしいことだなと改めて思うところであります。ぜひ宗教を超えて、ロータリーの目的である世界平和が久遠になるように、ぜひお願ひしたいと思いますし、改めて我々ロータリアンとしてロータリーに所属してるっていうことはすなわち世界平和にも貢献してるんだということを、皆さんも考えていただきながら、よろしくお願ひをしたいと思います。

幹事報告

海和 浩運 幹事

- 米本会員に地区のから永年在籍ロータリアン表彰40年ということで届いております
- 地区より九州北部豪雨災害台風15号災害の支援についてお願ひが届いております。会員1名あたり1,000円の要請で来ておりましたが、11月の理事会におきまして、特別会計より支出することになりましたので、ご報告だけ申し上げます。
- 11月2日に開催されました、寒河江ロータリークラブ60周年記念式典への参加お礼ということで届いておりますので、ご披露させていただきます。
- 11月のロータリーレートは108円です。

山形中央ロータリークラブ会長挨拶



山形中央ロータリークラブ
伊藤 和子 会長

西ロータリー様にお邪魔したのは20年ぶりぐらいで、大沼ホテルの時代でした。なんか懐かしいななんて思っております。

来年の2月15日、土曜日ですけれども、山形中央ロータリークラブがIMを主幹させていただくことになりまして、本日はご挨拶と、皆さまからのご参加の願ひに参りました。

ちょうど10年前、中央ロータリーがIMを開催させていただきました。その時は、山形国際ホテルさんで開催させていただきました。その時のクラブの会長が、今年度IMの実行委員長になる川井さんでございます。また今年度主幹であります遠藤隆一ガバナー補佐は、当クラブのバスター会長でございますので、事の進みも早いかなんて思っております。実行委員長のほうでIMはしっかり計画をされていくと思ひますけれども、懇親会は私も職業であります、おもてなしの会社をやっておりますので、心を込めて、会員一同、おいしい料理とおもてなしをさせていただきますので、どうぞ皆さま、大勢で押し掛けてください。よろしくお願ひいたします。



山形中央ロータリークラブ
川井 勝芳 実行委員長

IMの内容を、簡単にご説明をさせていただきたいと思えます。

今までのインターンシップの歴史に基づいて、今年も運営していきたいと考えております。まず、目的に関しましては、知識を広めるとともにブロック内の会の親睦、交流も重要な目的であるとされておりますので、先ほど伊藤会長からも話がありました、商売柄、特に親睦・交流には力を入れてまいりたいと思っております。

テーマにつきましては、ロータリーのこと、一般社会のこと、その時の話題、考えなければならない問題など、多岐にわたっているようでございます。今回は少子高齢化が進む人口減少という避けられない現状の中で、地域づくりには人育てが最も重要であると考えて、今回のIMのテーマを「地域づくりは人づくり」といたしました。

今年度、大久保ガバナーの基本理念であります、「元気なクラブづくりのために『ロータリーの木』の苗木を植えましょう。クラブに、地域社会に、世界に、次世代の為に」という理念ですけれども、地域の活性化には、各界のリーダーでありますロータリアン、そしてロータリークラブの活動の影響力は大きいものがあると思います。更なる具体的な地域貢献の模索と、具体的な計画、行動力を発揮しなければならない、と痛感をし、各ロータリークラブの皆さまに問題提起をさせていただきたいと思っております。また形式も講演会であるとかフォーラムなどいろいろありますが、今回は講演会形式をとさせていただきます。山形に関わりのある2名の講師に、お願いを今しております、筑波大学の名誉教授で、現在つくば市の教育長をされておられる門脇厚司様と、宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクトチームであります武井悠人さん、の2名を予定してございます。2人とも山形出身でございます。第5ブロック、これまでガバナー補佐が開催しております。今年度は遠藤隆一ガバナー補佐、山形中央ロータリークラブ、そして小松幸弘ガバナー補佐、中山ロータリークラブ、の2名でございますが、IMのリーダーは遠藤隆一さんという形になります。

最後になりますが、スポンサークラブであります山形西ロータリークラブの皆さまには、ぜひとも、過半数以上のご出席、ご登録をお願い申し上げたいと思えます。正式な申込書、あるいは内容につきましては、後日幹事の方にご案内申し上げますので、ぜひよろしくをお願い申し上げます。

「がんサバイバーとして 日々生きて」

株式会社西村工場
取締役管理本部長兼総務部長
島藤 諭完 氏



自己紹介ですが、島藤諭完で47歳になります。会社役員、それからがんサバイバー。私、「急性前骨髄急性白血病」という骨髄性白血病の仲間なんです。APLと3文字から派生してピアサポーター、FPは銀行時代に取ったものであります。

会社は、金属製品製造業や建設業をしております、36名の陣容で、おかげさまで今年、創業110周年を迎えることができました。現在、私も入れて社員3人ががんサバイバーとして働いています。就業制限はなく働いています。

発症に至るまで、山形銀行を退職して、当社に入社しました。前部長の後任として、総務経理全般をやらなさいと言われて3カ月経った2017年1月、日頃、成分献血をやっておりまして、そのときも40日ぶりに成分献血をやったのですが、献血ルームで、どうしても血小板の数値がおかしいと言われてまして、11月の末のときと比べると半分になってたんです。結局、献血ルームではわからなくて、紹介状を書いてもらいました。5日後にかかりつけのお医者さんで再度、血液検査をやったのですが、末梢血、いわゆるこの腕からとる最も基本的な血の中に、成熟できない血液細胞「芽球」がいっぱい見つかったんです。これが出てくると、白血病の疑いが高いと言われ、山形県立中央病院の血液内科に紹介状を書かれたというところです。

この白血病の疑いが高いと言われたのが、事実上の最初の告知だったのですが、このときの心境、覚えてないんです。お正月明けの3連休で、病院から家に帰って、家内に話したら、いきなり泣き出しまして、「なんで私のとこばかり、うちばかりこんなことが起きるの」ってことを言われて、呆然として、そのときに我に返ったような気がしました。ところが、最初にしたことはGoogle検索で「白血病」って調べちゃうんです。やっぱり「死ぬんだろうな」と思いました。

白血病なんて、他人がなる病気だと思っていたんです。「さあ、困った。仕事どうしよう」となったのですが、素直に「白血病になったみたいです」と月曜日に話し、木曜日に県立中央病院の血液内科に行きますと。99%即入院、数カ月単位の入院期間で、どんなことになるか、生きて戻れるかわかりません。と率直に言いました。

病院で改めて「白血病です」、急性前骨髄急性白血病ですと確定されまして、即治療に入らなければ、桜が見られませんかと言われてたんです。2月に入って、無菌室に入るんですけども、私の白血病は分子標的薬がありまして、これは極めてすごい飲み薬で寛解になっちゃうという白血病の1つの種類なんです。もちろんそれにプラスとして抗がん剤。37日間かけて、血液学的寛解を得て、白血病になると体の中に1兆個のがん細胞があると言われ、それを10億個に減らすのが最初の第1歩なんです。そして、さらに10億個から100万分の1のレベルまで下げていくというのが、5月でした。結果的に入院日数が延べ86日でした。今は退院後、維持療法ということで全く薬を飲んでもいませんし、8週間ごとに血液検査や遺伝子検査で経過を観察しています。

会社で「白血病になりました」って言ったのが月曜日、木曜日に入院ですから、火曜・水曜2日間しかなかったんですね。どうやったら、引き継ぎの優先順位とか、何に、誰にどうやって何をしたいのか、もう頭の中パニックになってるんですけど、囑託の部長には、総務部門の統括と製造の分をやってくださいと。部下の2人については、自分のやりかけていた事務作業を、目の前にある優先順位が高いものを引き継ぐことに専念すること。ところが今は、SNSの力はすごいと思ったのが、

入院しても、すぐにLINEが来るんです。無菌室に困ったって言って、LINEが来て、本当はいいことじゃないんですけど、写メに撮って来るんです。無菌室でも判断はできる。ただ、さすがに抗がん剤の副作用のときは、ちょっと辛かったです。「代わりがいてくれたらなあ」っていうのが本音だったんですけど、中小企業っていうのは、そんな余裕はない。

今、言われているように、2人に1人ががんになる時代、「2人に1人が」の前に、「生涯で」って言葉を入れなきゃいけないってことを認識していただきたいんです。65歳以上の方ががんになる確率は、最新で77%だそうです。お年寄りの方がかかる病気だっということが1つわかってきているんです。ちなみに、0歳~14歳までの若い方、小児がんにかかる方が1年間におよそ2千人です。15歳~39歳の働き盛りの方が2万人です。日本対がん協会は、今年のキャッチフレーズ、コピー「がんは万が一ではなく2分の1」って言うんですけど、がんに罹患することは他人事ではないということです。

でも、がんになったからどうなんだってことで、自分を振り返ってみたんですけど、治る時代になってきている。今、5年生存率と言われているんですけど、最新のデータで国立がん研究センターが出しているのが66%、67%までいってます。約7割弱は治る時代になった。治らなくても共存していくことができる時代。ところががんって病気は、ほかの心疾患、脳卒中とは何が違うかという、すぐに死なない病気だっということがわかってきています。心疾患、脳疾患は、即死もありうる病気だと思うんですが、がんに関してだけはすぐに死なない。だから、何が必要かっていうと、2分の1の備えてことになるんですけど、これを皆さまができていくかどうか、もちろん、僕もいまだに再発するリスクも高いですし、ないとは言いきれないんですけど、それができているかどうかっていうのは、常に頭のどこか片隅に入れてるのが現実です。

私がしたことは、別に偉そうなことでもないのですが、決め事の明確化、権限の明確化と、人にやってもらってリスクがないことはどんどん譲ること。意思決定はきちっと明確にして残し、合議制にしよう。当社はそこところは、やや遅れていたところもあった。自分の病気のせいで、お客様や社員に迷惑はかけられない。これは当たり前なことだと思うんですけど、改めて病気になってみて、つくづく感じました。白血病になったいち人間として、人と人の優しさ、配慮とか気遣い、こういうものを感じました。だから、今の会社の皆さんに「恩送り」をしようと思いました。これ、「恩返し」という言葉をよく言うんですけど、恩返しというよりも恩送りということなんだろうな。社員に優しい会社になろうと、病気で苦しんでいる社員にこそ優しい企業になろうと、以下の取り組みを始めました。

今までは法定健康診断をやってきたし、産業医もいたんですけど、きちんと生活習慣病予防検診をやったり、1番力を入れてるのは全社員に対して1年間に2回、約35人に1時間半の面接をします。この面接を実施することによって身体の不調や心の不調もわかるし、話してくれるような環境ができてきたのは非常に良かったことかと思えます。

2番目、人間ドックを推奨して社員に勧めたところ、1年前は社長と私の2人だけだったんです。それが8人まで増えて4倍になったんです。今後は私傷病で休んだ人に対しても特別有給積立を実施して、労災だけでなく私傷病に関してもきちんと積立休暇制度を当社も入れようと考えました。

3番目、ピアサポーターということで、2018年1月に罹患してから翌年の1月、ちょうど発症して1年後、山形県のピアサポーター養成講座を受けて、今も受講しております。それから、今、皆さま方のお手元にも、すべてではないですが一部お配りしている『山形がんサポートハンドブック』を作成させていただいて、これの作成に参加もさせていただきました。お手元に今日お渡りでない方はインターネットをご覧くださいと思います。

それから山形県立中央病院のがん相談支援センター「ひだまりカフェ」でもピアサポーターで参加させていただいたり、山形県がん総合相談支援センター、がんサロンの開設会議委員やがん関連セミナーにも出させていただき、今年の7月に、山形県でもがんサロン、ピアサポートサロン「クローバー」というのが始まりました。全国でも非常にまだ少なく、蔵王成沢

の健康推進機構や、山交ビルさんでもやっております。最近は学会、患者さんのための学会に変わりつつある部分も一部あって、参加するに当たって渡航の補助なんかも学会で出していたら、そんなものの会員になったり、準会員になったりもしております。

山形県は、がんに関しては健診受診率は全国の第1位なんです。ところが、健診を受けたあと、精検になってから病院に行かない。精検受診率はもっと上げていかなきゃいけないというのは県の当局の方も話してるんですが、足りない部分としてはがん患者や家族、遺族に対するケアは今始まったばかりです。医療用ウィッグの購入費用の補助の取り組みもあまり知られてないんです。

このピアサポーター活動や今回いただいているお話の機会、さまざまな取り組みも知っていただきたいと思ってます。また、ピアサポーターとして、自身、患者、家族、遺族の方々に寄り添い、そしてこの傾聴ということなんだなと感じてきました。そしてがんについての正しい知識や取り組みを知っていただきたい、お手伝いをしたいと思っています。

がんになったとか、がんの情報についていろんな情報が今巷に蔓延していますが、私としては、最初に入っていたサイトは国立がん研究センターの「がん情報サービス」からいろんな知識やそういうものを得ていただくのが1番正しいと思います。がんサバイバーとして、2人に1人の時代になった。亡くなる方は3人に1人、1年で100万人の新たながん患者が生まれる時代です。誰ものがんに罹患することが不思議でない時代です。早期発見、早期治療でがんは治る時代にもなってきました。治ることは困難でも共存を目指せる時代になってきました。でも、世の中ではまだがんは特殊な病気だと、やはりまだ「死」がその脇にはついてまわる。無菌室で思ったことは、生きていることと死との境はなんだろうと思った時、紙一重だったんです。紙一重という言葉よりも、壁1枚向こうだったんです。本当に怖かったです。

エリザベス・キュープラー・ロスの『死ぬ瞬間』って本に、がんになると気持ちが変わっていくんだよってことが書いてありまして、否認から怒り、取り引き、抑うつ、受容ということで、この本を読んでいただくとその辺のところも書いてあるんですが、実はがんになっても普通に暮らしたいし、働きたい、接してほしいという、がんサバイバーの人は多いんです。がんになっても治療に入る前に仕事を辞めてしまう人が、まだ3割いるんです。国立がん研究センターの先生方もびっくりしてるのは、「お仕事は?」って聞くと「辞めてきました」って言うんです。「なんで辞めたの?」って言ったら、「そんな、がんになって仕事なんかできませんよ」。「なんで辞めたの、今はがんはね、治療で、通院して治療するんだよ。だから辞めないでほしい」っていうことを、私もそれは訴えたいです。

それで、経営者の皆さま方には、辞めさせないでほしいんですね。もし辞めなきゃいけない時が来たら、それは最後なんだと、最終選択にしてほしいんです。愛しい家族のために仕事を辞めるという選択肢がない人もいます。もっともっと治療と仕事の両立が当たり前になってほしいと、そんな社会になるようお願いしたいと思います。

最後に、「今を生きる」という言葉が非常に身に染みて感じます。がんサバイバーやがんで亡くなる人が遺していく言葉に、「今を生きる」という言葉がどれだけ多いかを知らされました。明日が来ること「明日」のことを憂いたり、過去のことをどう思うことよりも今が大事なんだと。「今」っていうのは「プレゼント」って言葉使ってます。「プレゼント」っていう言葉は「今」という意味と「贈り物」という意味があると。だから今という時間は神さまからの贈り物なんだということを教えられました。

がんと就労や、がんとお金の関係、それから、がんと口腔衛生のことも今ちょっと取り組んでいます。それからがんに対する正しい知識、患者サイドとしてのところも、もしお話することがあればと思っております。

私の治療記はアメーバブログの「しまちゃんのプロ」に、370回に渡って書かせていただいていますので、病院に入院してる時に、暇で、遺書というわけではなかったんですけど、時間があつたものですからブログを毎日書いて、370枚溜まりました。

本日はご清聴いただきまして、本当にありがとうございました。

委員会報告

ロータリー情報委員会 遠藤 靖彦 委員長

本日ファイヤー・サイド・ミーティング、そして西山会、こちらが6時半から千歳館で開催されます。ご出欠はいただいておりますが、対象の皆さま、時間・場所、間違えずにご参加のほどをよろしくお願いいたします。今回は西山会、そして若手の方々と現理事、委員の、委員長の皆さんとの親睦を重視して設定をさせていただいております。委員長以上の方でも出席のお願いをして、今回参加をいただきます。十分に親睦が図れる会にしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



親睦・家族委員会

来月16日、恒例のクリスマス家族会をパレスグランドールにおいて行います。今年も山形出身のシンガーソングライターの演奏とか、今年1年を振り返るビデオを皆さんにご覧になっていただけたらとか、子どもさんお孫さん向けにバルーンアートとかも準備してお待ちしておりますので、奮ってご参加をお願いいたします。

なお、抽選会の協賛の商品、皆さまにお願いしております。まだまだ集まっておりませんので、ぜひ皆さまご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

〈11月25日〉

鈴木浩司会長／2月15日のIM開催でのPRにお出でいただきました山形中央ロータリー伊藤会長、川井実行委員長をお迎えて、ニコニコいたします。

山形中央ロータリー伊藤和子会長、川井勝芳実行委員長／2月15日のIMに多くの会員にご出席、ご登録をお願い申し上げます。

遠藤栄次郎さん、遠藤靖彦さん、安部弘行さん、酒井政輔さん、吉田福平さん、武田朋広さん、市村清勝さん、東海林健登さん、東海林仁さん、早川徹さん、佐藤啓さん、三澤裕一様さん／南高初、武田良和さんの商工会議所副会頭就任を祝して。

米本満さん／在籍40年表彰をいただきまして感謝申し上げます。

佐藤啓さん／7ロータリーゴルフコンペ準優勝をしました。10月7日に開催され、7ロータリーゴルフコンペで優勝は逃しましたが、準優勝いたしました。その賞金をニコニコさせていただきます。皆さまありがとうございました。

本日の献立



寒河江ロータリークラブ 60周年記念講演・記念式典・祝賀会



＜本日出席・修正出席＞

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (11/25)	95名	57名	修正出席 (10/20)	93名	86名	83名	96.51%
メイクアップされた会員	(イブニング) 大西 章泰 (山形中央) 鈴木 隆一、伊藤 歩、富田 浩志、伊藤 義彦 (山形) 尾形 亨、長谷川浩二、伊藤 義彦、藤田 良仁						